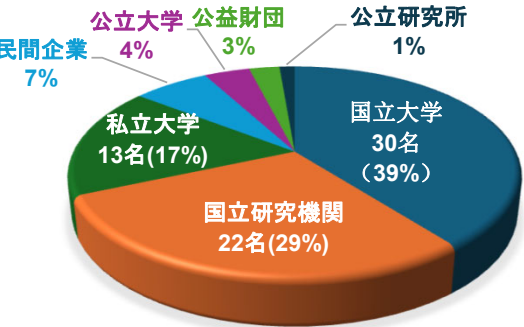


私立大学の研究力・大学ランキングにおける位置

資料3



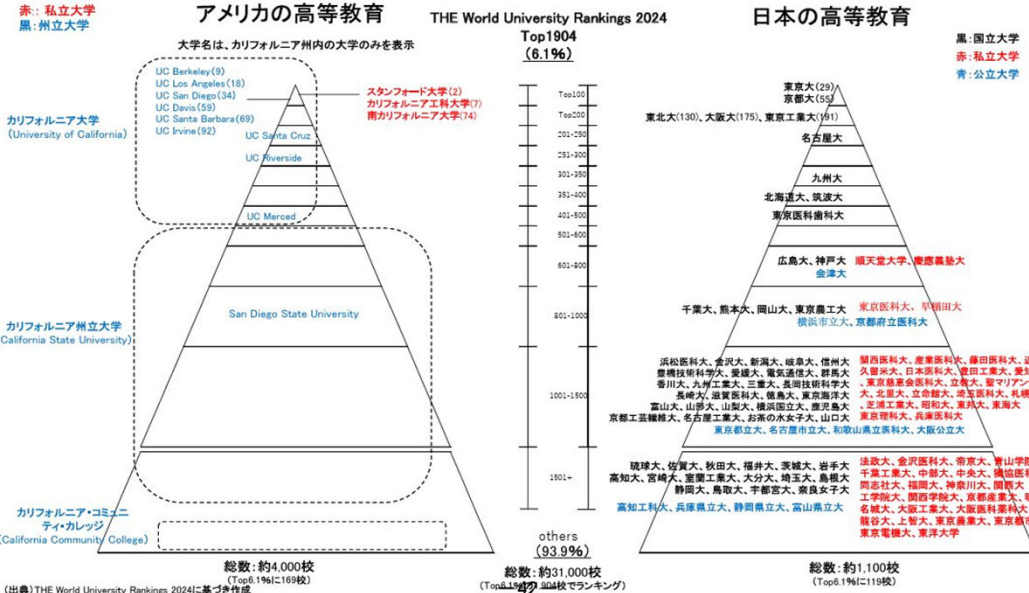
Clarivate Analytics社 Highly Cited Researchers 2024より

機関名	人数	運営費交付金額・ 私立大学経常費補助金額
京都大学	8名	56,524,533
慶應義塾大学	7名	8,853,277
理化学研究所	7名	56,417,000
東京大学	6名	84,037,455
物質材料研究機構	6名	16,664,000
九州大学	3名	41,953,247
国立がんセンター	3名	6,735,729
名古屋大学	2名	32,874,465
岡山大学	2名	19,606,909
大阪公立大学	2名	28,401,000
近畿大学	2名	4,519,413
塩野義製薬	2名	-

2024年度のHighly Cited Researchersには、我が国から76名が選出されているが、私立大学からも13名（全体の17%）が選出されている。選出人数では、京都大学が8名、それに次いで、慶應義塾大学が7名選出されるなど、私立大も世界的に影響のある研究者を擁している。

日米の高等教育の構造比較

- 世界大学ランキングにランクインしている日米の大学をランキング順別に配置すると以下のとおり。
- ランクインしている大学は、米国では全大学の約4%に過ぎず、かつトップ200位に集中しているのに対し、日本ではトップ200位以内の大学は少ない一方で、全大学の10%以上がランクインしている状況。



文部科学省. “我が国の「知の総和」 向上の未来像-高等教育システムの再構築-(答申) 関係データ集より (令和7年2月21日)

「我が国の『知の総和』 向上の未来像～高等教育システムの再構築～（答申）」（令和7年2月21日・中央教育審議会）によると、THEの2024年度大学ランキングでは、我が国の大学は119校がTop6.1%にランクインしている（全大学の10%以上）。上位は国立大学が占めるものの、ランクイン私立大学は50校に及んでおり、国立大学と同等の数がTop6.1%にランクインしている。

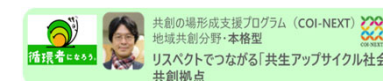
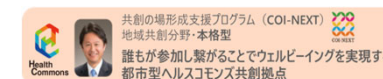
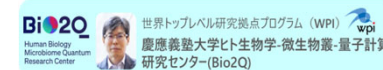
私立大学における高度な研究の取り組み例



Global Research Center構想のもと、社会変革をもたらす価値の創造を使命として、飛躍的・競争的研究を推進している。
総合研究機構、次世代ロボット研究機構など、世界最先端の研究に取り組む9つの研究機構を有するほか、私立大学で唯一、「先端研究基盤共用促進事業(コアファシリティ構築支援プログラム)」に採択されるなど、研究設備とその人的支援の充実に力を入れている。



私立大学で唯一WPIに採択され、「ヒト生物学-微生物叢-量子計算研究センター (Bio2Q)」を立ち上げたほか、COI-NEXT本格型2件に加え、領域横断型の研究拠点を次々に立ち上げている。
J-PEAKS事業において、「未来のコモンセンスをつくる研究大学」を目指し、学問の社会実装や起業家・実業家を創成し新産業の創出による豊かな社会実現に取り組んでいる。



「臨床力」を強みとしており、6つの附属病院の総病床数は3,400床を超えるなど、国内トップクラスの大学病院の利点を活かし、豊富な臨床データと症例を活用した研究が盛んにおこなわれている。科研費の採択件数は、全国18位、私立大学では3位となっている。
医療研究の早期実用化にも力を注いでおり、2019年度からは、会員制の社会実装支援プログラムである「GAUDI」を開始し、産学連携オープンイノベーションを推進している。



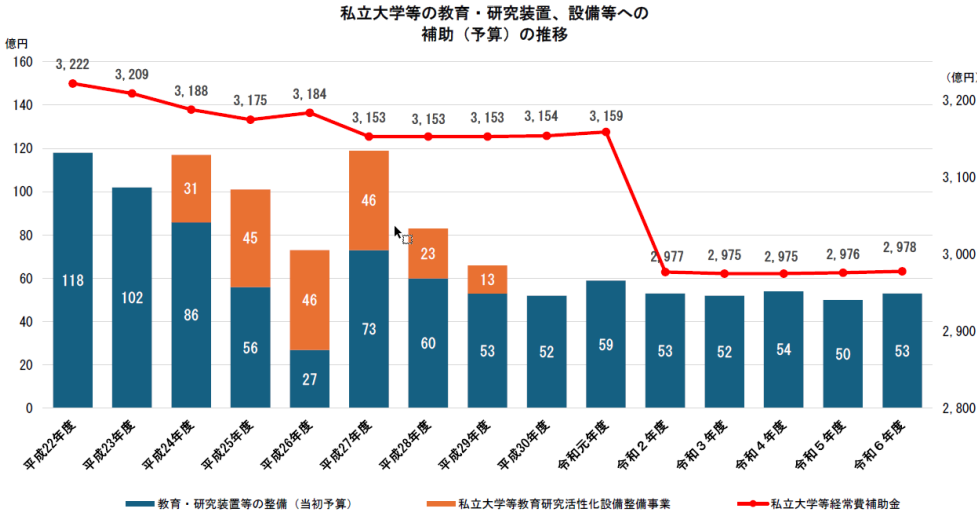
2030年に向けた大学のビジョン「学園ビジョンR2030」において、教育・研究を世界水準で推進し、総合大学の強みを生かし、研究の高度化に取り組む「次世代研究大学」の実現を目指している。
2024年には、J-PEAKSに採択されたほか、宇宙戦略基金による「SX研究開発拠点」にも選定されるなど、研究大学としての評価が高まっている。



我が国の研究力向上のために、国私間の支援格差の是正が重要

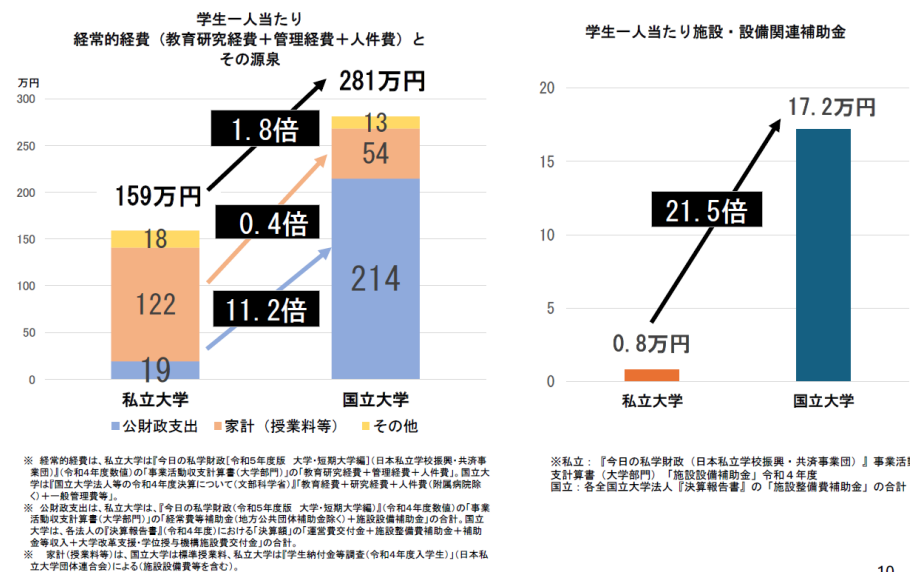
国立大学に比して、私立大学への施設設備関係補助は極めて低く、競争的資金等により研究費を確保したとしても、その間接経費のみでは十分とは言えず、また、学納金を研究施設に充当することも困難なため、高度研究推進の基盤となる施設設備費の確保が困難な状況である。

- 教育・研究装置、設備等への補助は、国立大学が全額補助されるのに対し私立大学には2分の1等の補助率がかけられる。
- さらに、私立大学に対する教育・研究装置、設備等の予算は、この14年間で118億円から53億円へと55%減少している。



※ 「教育・研究装置等の整備」には、他局計上分及び高校以下分を含む。
※ 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業分、私立大学研究ブランディング分、私立大学等改革総合支援事業分、私立大学病院の機能強化（利子助成）分を含む。
※ 補正予算は含まない。

- 私立大学に対する学生一人当たりの経常費補助（19万円）は、国立大学（214万円）の約11分の1である。
- 私立大学の家計負担（授業料等）（122万円）は、国立大学（54万円）の2.3倍である。
- 私立大学に対する学生一人当たりの施設設備関連補助（0.8万円）は、国立大学（17.2万円）の約22分の1である。



私立大学連盟. “新たな公財政支援のあり方について（参考データ集）”. 令和6年8月 より

わが国における研究の高度化を推進するうえで、WPI等の高度な研究拠点を有する私立大学や、特筆すべき研究成果をあげている私立大学などに対しては、国立・私立といった設置形態にかかわらず、国立と同一な設備投資や特別補助、研究者へのインセンティブの提供など、十分な支援がなされることが不可欠。